

平成23年度 伯耆町一般会計決算

決算の概要

- ・ 決算額 歳入 83億7千万円（対前年度比 約0.7%減）
歳出 79億2千万円（対前年度比 約0.5%減）
- ・ 主な財政指標の推移
 経常収支比率 89.4%（対前年度比 5%悪化）
 （臨時財政対策債借入抑制による収入減、扶助費、台風災害復旧事業費等支出増による）
 実質公債比率（3ヵ年平均） 14.6%（対前年度比 1.2% 改善）
- ・ 監査意見
 - ① 財政面での健全化の取り組みを評価、引き続き鋭意努力されたい。
 - ② 廃棄物減量化、EVタウン推進等先進事業への取り組みを評価。
 - ③ 基幹産業である農業振興施策にあっては人材育成・人材確保に取り組まされたい。
 - ④ 福祉事務所の設置等もあり、福祉行政全般については、職員の負担増に留意されたい。

平成23年度町各会計決算に対する議会 決算特別委員会の審査意見

平成24年9月11. 12. 13. 14. 18. 19日 全6日間の審査を経て
平成24年9月25日 決算審査特別委員会委員長 → 議長へ提出

審査意見

1. 町民税等の徴収業務については、努力の成果が見受けられるが、安定した税収はわが町財政運営の根幹をなすものであり、徴収率向上に向け、より一層の努力と工夫を図られたい。
2. 一般会計の基金から特別会計への繰り出しは、安易にすべきでなく、繰り出し基準を定めるなどして実施されたい。
3. 有線テレビ伝送路の貸付料について、中海テレビに現行提示額の積算根拠の明示を今一度申し入れ、金額の妥当性を再度検証するとともに、同伝送路を活用した新たな収益事業（IP電話・インターネット等）拡大の可能性を念頭に、再度貸付料の交渉を図られたい。
4. 商工観光課所管の指定管理先である特産品販売施設について、順調な販売実績の向上が見受けられる施設がある一方、近年販売実績の低迷が顕在化している施設もある。業績好調な施設については、指定管理者と協力の上、地元産品のさらなる販売拡大を図るとともに、業績不振の施設について、指定管理者とともに、低迷の原因を検証し、早急に現状打開のための具体策を検討されたい。
5. 各下水道事業特別会計の財源確保のためにも、接続の取り組みを一層強化されたい。
6. 新型インフルエンザ対策事業ならびに、各接種助成事業などについて、町単独のかさ上げによる健康対策を高く評価する。さらに、住民の健康保持のために受診率ならびに接種率の向上に引き続き取り組みをされたい。
7. 放課後児童クラブは対象を拡大し、施設や運営面について、個別の対応も行うなど子育て環境の整備に力を入れている。運営においては、勤務条件の特殊性に鑑み、指導員の確保が容易になるように待遇面の改善を検討されたい。
8. 町社会福祉協議会の地域福祉業務に対する町の人件費助成割合について、今後検討されたい。
9. 町社会福祉協議会は、町からの多額の助成金を投入している団体である。町民の負託に機敏に対応できるよう、プロパー職員の養成等を含めた組織の構築をされるよう指導されたい。
10. 学校給食費の未納分の集金については、目標数値を設定の上、教育委員会、学校、保護者、給食センターなど関係者が力を合せて鋭意努力されたい。
11. 学校、保育所、放課後児童クラブ等の大雪時の除雪体制を検討されたい。
12. 写真美術館の運営について、基本的事項の重要な変更については、議会とも事前に協議を願いたい。
13. 町営住宅の適正な管理をさらにされるよう検討されたい。